

一般財団法人みらい環境
第 1 回（2025年度）研究助成事業
「奨励研究助成」 募集要項

1. 本助成の趣旨

本助成は、地球温暖化対策やサーキュラーエコノミーなど、国が目指す2050年カーボンニュートラル社会の実現に向けた技術開発を目指す、将来国際的に活躍する可能性を秘めた、優秀で志の高い若手研究者・学生を対象とした助成制度です。大学、専修学校等の若年層の研究活動を支援することで、持続的な発展を目指す次の3つの分野に関するものとします。

- サーキュラーエコノミー 廃棄物を再資源化するための研究
- 温室効果ガスの発生抑制技術・発生からの利活用技術などの温暖化対策の研究
- 一次産業などの国内自給率向上に向けた技術や活動に関する研究

2. 本助成の特徴

- (1) 当財団の助成研究領域の多様性を考慮して、助成金額は上限 200 万円まで（少額でも可）とし、研究期間については 1 年間から 最大 3 年間まで選択可能です。
- (2) 日本国内の大学・研究機関等に付属する研究室。所属する機関の学生を中心に共に活動する研究者。もしくは日本国内の高校(工業・農業)、専修学校に所属する学生で、当財団の推奨する研究分野での研究を進める方が応募可能です。
- (3) 助成終了後も、当助成研究課題における論文作成、掲載、発表等にかかる費用についての付加的支援を行うことも検討します。

3. 助成件数・助成金額・研究期間・対象

	専修学校・高校の部		大学・大学院の部		
	①学内研究コース	②全国大会出場コース	③ゼミ活動型コース	④基礎研究コース	⑤複数年発展型コース
概要	助成の対象となる研究は、地球温暖化対策やサーキュラーエコノミーなど、国が目指す2050年カーボンニュートラル社会の実現に向けた技術開発を支援するもので、特に大学・専修学校等の若年層の研究活動を支援することで、持続的な発展を目指す次の3つの分野に関するものとします。 ■サーキュラーエコノミー 廃棄物を再資源化するための研究 ■温室効果ガスの発生抑制技術・発生からの利活用技術等の温暖化対策の研究 ■一次産業等の国内自給率向上に向けた技術や活動に関する研究 ■その他、上記に類する、地球環境保全に資する将来有望な活動・研究				
対象団体	日本国内の高校（工業、農業）専修学校。		日本国内の大学・研究機関等に付属する研究室。学生を中心とする活動。	日本国内の大学・研究機関等に付属する研究室。大学院博士課程在籍から教授までの資格を有する研究者を中心に学生と共に活動する組織。	
助成期間	1年間		1年間	1年間	複数年：最大3年
助成金額	1万円～20万円		1万円～30万円	100万円～200万円	100万円～200万円×対象年数
結果報告	学校にて指定する発表の場（文化祭・大会出場等）		活動内容の発表イベント、表彰等の実施	年度単位(2月)に報告会。レポート及びプレゼン	年度単位(2月)に報告会。レポート及びプレゼン
件数	5件		10件	1～2件	

4. 応募資格

- (1) 申請時点で、国内の大学・短期大学・高校・専修学校および公的研究機関（以下、「所属機関」）に所属する研究者・学生で、助成期間中は所属研究機関において助成金の機関管理を受け、かつ国内で本人が課題研究を行える方。
- (2) 助成申請にあたり、所属機関長（学部長・研究科長・研究所長等）の承認を得られる方。
- (3) 科研費等の大型助成を申請時点で受けている場合、研究課題名の重複や、研究費の過度の集中が認められるときには、不採択となることがあります。
- (4) 当助成の課題研究については、成果の公表（論文発表や学会等での口頭発表。専修学校・高校の部においては、文化祭・大会出場なども含む）が可能な研究としてください。
- (5) 当財団の助成（「研究者育成助成（申請者本人・育成支援教員）」「奨励研究助成」）について、重複しての応募または助成を受けることはできません。
- (6) 当財団助成を助成中の研究者である場合、再申請については、助成期間終了後に行ってください。

5. 応募方法

申請書類の郵送は不要です。Web上の応募フォームからのみ申請手続きを受け付けます。

(1) Web 申請

当財団ホームページTOP>「助成研究の公募」より、手順に従って登録・基本情報の入力、及び必要書類のアップロードを行ってください。

[一般財団法人みらい環境](#)

(2) アップロード書類一覧

- 「申請概要」 ホームページより「研究助成金交付申請書」をダウンロードし、必要事項を記入し、PDF形式にてアップロード願います。
- 「研究費内訳表」様式問わず。上記「研究助成金交付申請書」に記載の通り、使途明細を作成し、PDF形式にてアップロード願います。
- 「申請詳細」様式問わず。

※助成を希望する研究の詳細をまとめたものをPDF若しくはWORD形式にてアップロード願います。

(3) 申請フォーム入力上の留意点

- ② 申請フォームは日本語で本人が記入してください。
- ② 申請フォームの記入方法については、フォームに記載の注意事項をご確認ください。

6. 応募締め切り

2025 年 6 月 13 日（金）12時（正午）まで ※メール送付完了のこと

7. 選考日程・結果通知

- (1) 選考委員会にて書面審査を行い、2025年6月16日(月)開催予定の理事会において助成対象者が承認されます。
- (2) 合否結果については、6月30日(月)以降にメールまたは文書で通知します。
なお、採否の理由についての照会には回答いたしかねます。

8. 助成金の使途

助成金の使途は、原則助成対象者(対象機関)本人のみ使用可であり、課題研究に直接必要な経費とします(設備備品類、消耗品費、旅費等)。

また、以下の費用は対象外とします。

- ・ 建物等の施設に関する経費(直接経費により購入した物品を導入することにより必要となる軽微な据付等のための経費を除く)
- ・ 助成期間中に発生した事故・災害の処理のための経費
- ・ 助成対象者本人への人件費・謝金
- ・ 助成対象者が所属する組織の間接経費

9. 助成金の贈呈

個別に相談の上、時期を決定して贈呈。

- (1) 概算経費案を含む、研究計画の立案・提出後
- (2) 助成金振込時期・振込先

2025年9月末までに、受入研究機関の指定口座に振込みます。

助成対象者の個人口座への振込はできません。

なお、助成開始手続きにおける「寄付申込書」の書式については、当財団所定の書式をご使用頂くようお願いしております。

10. 助成決定後の遵守事項

助成決定後、助成対象者には、主に以下の事項を遵守していただきます。

- ・ 研究計画書および予算書に基づく研究活動など
- ・ 年次報告書および最終研究報告書の期限内提出。発表会の結果報告など

11. 個人情報の取扱いに関する事項

- (1) 当財団の研究助成への応募にかかわる全ての個人情報は、選考に関する手続き(審査および当財団からの連絡)のみに使用します。
- (2) 助成決定後、当財団に「個人情報の取扱いに関する同意書」を提出し、併せて主

として 当財団並びに三友グループのホームページ等に以下の情報を公開することに同意していただきます。

- ① 助成対象者の氏名、所属機関名、職位、顔写真
- ② 研究課題名
- ③ 申請研究の内容
- ④ 研究期間
- ⑤ 助成金額
- ⑥ 研究成果報告
- ⑦ 財団主催の行事に参加した際、財団で撮影した写真

12. 申請に関する問い合わせ先

一般財団法人みらい環境 奨励研究助成金担当 宛 info@mirai-kankyo.or.jp

※電話でのお問い合わせは受け付けていません。必ず文面に所属機関、氏名、メールアドレスを記載し、メールでお願い致します。

※お問い合わせの前に、ホームページ上の「奨励研究助成金 FAQ」をご確認ください。

以上